



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年5月11日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	10,780	△4.6	△323	—	△374	—	△375	—
27年9月期第2四半期	11,306	3.2	35	△77.9	34	△72.9	34	△69.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	△32.02	—
27年9月期第2四半期	2.93	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	11,251	△169	△1.5	△14.41
27年9月期	12,206	263	2.1	22.44

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 △169百万円 27年9月期 263百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年9月期の業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	22.3	220	72.9	130	75.8	110	56.3	9.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	11,734,197株	27年9月期	11,734,197株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	6,272株	27年9月期	6,272株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	11,727,925株	27年9月期2Q	11,728,190株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、企業の業況等は好調を持続していることから穏やかな景気回復は継続していると考えられておりますが、新興国経済の減速など海外での先行き不透明感、原油価格の下落等により物価上昇を抑制する動向も強まり、景気回復の実感が乏しい中での当第2四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である鶏肉につきまして、国内需要は堅調に推移しているものの輸入量が増加傾向にあり、併せて当第2四半期累計期間後半で進行しました円高の影響等により市場価格の低迷が続き、利益を確保することが難しい状況となりました。牛肉につきましては、第2四半期会計期間において食卓・外食向けに売上が伸びましたことから、取扱数量・売上高とも増加しました。中国向け車輻部品・エンジンの輸出は、日本製としての信頼を重視され、根強い需要があることから堅調に推移しました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに取扱数量・売上高とも堅調に推移しており、化学品等の輸出は既存顧客を中心とした営業を展開しながらアイテム数を増やすこと等で、取扱数量・売上高とも順調に確保することができました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は107億80百万円(前年同四半期累計期間比4.6%減)となり、主力の鶏肉において、輸入量の増加と円高の影響により市場価格が下落し、厳しい営業を強いられたこと、総合食品チームで扱う牛肉では特定部位の販売で一時的な赤字販売を余儀なくされたこと等で、営業損失が3億23百万円(前年同四半期累計期間は営業利益35百万円)となり、経常損失3億74百万円(前年同四半期累計期間は経常利益34百万円)、四半期純損失3億75百万円(前年同四半期累計期間は四半期純利益34百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (食料部)

鶏肉につきましては、国内需要は堅調に推移したことから取扱数量・売上高とも確保はできたものの、輸入量の増加が市場に悪いインパクトを与え、拍車を掛けるように急激な円高が影響して歯止めが掛からないほど市場価格が下落いたしました。牛肉につきましては、当第2四半期累計期間後半におきまして、外食向け等が伸びたことから、取扱数量・売上高とも増加いたしました。ハム・ソーセージの原材料となる畜肉調製品につきましては、需要の回復が鈍くメーカー側の生産調整等もあり、取扱数量・売上高とも減少いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、68億10百万円(前年同四半期累計期間比9.7%減)となりました。

#### (営業開拓部)

中国向け車輻部品・エンジンにつきましては、日本製への信頼は厚く、需要も根強くあったことから取扱数量・売上高とも堅調に推移しました。農産品につきましては、中国産大豆は相場低迷から取扱数量・売上高とも低迷したものの、玄蕎麦は当第2四半期累計期間末にかけ国産品の品薄感から輸入物への需要が高まり、取扱数量・売上高とも増加しました。化学品につきましては、需要の掘り起こしが功を奏し取扱数量・売上高とも順調に推移しました。総合食品チームが取り扱う畜肉等の加工食品全般につきましては、タイ産の加熱加工食品を中心に外食向けの商品が堅調に推移しましたが、中国産につきましては、消費者のイメージが定まらない状況での販売となったため、取扱数量・売上高とも低迷いたしました。当チームで扱う牛肉・牛肉内臓類等につきましては、現地相場の高騰により価格面での厳しい対応を強いられておりましたが、取扱数量・売上高とも実績を積み上げました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、37億44百万円(前年同四半期累計期間比3.1%増)となりました。

#### (生活産業部)

スーパー・量販店向け豚肉及び加工食品につきましては、当第2四半期累計期間を通じて僚品である牛肉の価格が比較的高めに推移したことから豚肉への需要が継続し、取扱数量・売上高とも増加いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、2億26百万円(前年同四半期累計期間比66.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期累計期間末の資産につきましては売掛債権、商品及び未収消費税等の減少に伴い、前事業年度末に比べ9億54百万円減少し、112億51百万円となりました。

負債につきましては仕入債務の減少等により前事業年度末に比べ5億21百万円減少し、114億20百万円となりました。

純資産につきましては、当四半期純損失及び為替予約の時価評価損の増加等により前事業年度末に比べ4億32百万円減少し△1億69百万円となりました。自己資本比率は△1.5%となり、前事業年度末に比べ3.6ポイント減少しております。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月13日公表の「平成27年9月 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,663,185	2,781,291
受取手形及び売掛金	4,241,334	3,612,118
商品及び製品	4,299,791	3,879,032
その他	242,782	231,675
流動資産合計	11,447,093	10,504,117
固定資産		
有形固定資産	324,403	315,760
無形固定資産	2,859	2,859
投資その他の資産		
その他	478,111	475,511
貸倒引当金	△46,461	△46,461
投資その他の資産合計	431,649	429,049
固定資産合計	758,912	747,670
資産合計	12,206,006	11,251,787
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,544,123	1,214,421
短期借入金	9,166,469	9,095,547
未払費用	713,366	582,271
その他	298,322	300,574
流動負債合計	11,722,282	11,192,814
固定負債		
退職給付引当金	157,195	164,477
その他	63,289	63,569
固定負債合計	220,485	228,046
負債合計	11,942,767	11,420,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,269,897	1,269,897
資本剰余金	1,231,838	1,231,838
利益剰余金	△2,176,364	△2,551,999
自己株式	△852	△852
株主資本合計	324,518	△51,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,579	17,120
繰延ヘッジ損益	△76,858	△135,078
評価・換算差額等合計	△61,278	△117,958
純資産合計	263,239	△169,074
負債純資産合計	12,206,006	11,251,787

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	11,306,444	10,780,923
売上原価	10,945,917	10,763,682
売上総利益	360,526	17,240
販売費及び一般管理費	324,549	340,258
営業利益又は営業損失(△)	35,977	△323,017
営業外収益		
受取利息	2,909	150
受取配当金	769	746
受取賃貸料	6,001	5,971
還付消費税等	26,697	680
投資事業組合運用益	20,604	1,242
その他	685	1,117
営業外収益合計	57,666	9,908
営業外費用		
支払利息	52,946	50,294
為替差損	474	5,540
その他	5,705	5,701
営業外費用合計	59,126	61,536
経常利益又は経常損失(△)	34,517	△374,645
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	34,517	△374,645
法人税、住民税及び事業税	1,746	1,438
法人税等調整額	△1,620	△449
法人税等合計	126	989
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,391	△375,634

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	34,517	△374,645
減価償却費	12,412	8,757
固定資産除却損	—	81
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,391	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,441	7,281
受取利息及び受取配当金	△3,678	△896
支払利息	52,946	50,294
為替差損益(△は益)	272	6,402
売上債権の増減額(△は増加)	1,991,314	629,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	177,484	420,759
仕入債務の増減額(△は減少)	655,311	△329,701
前渡金の増減額(△は増加)	671	△137,349
未収消費税等の増減額(△は増加)	△75,123	139,649
未払費用の増減額(△は減少)	△132,879	△131,095
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,711	—
その他	△403,546	△44,196
小計	2,314,040	244,557
利息及び配当金の受取額	933	896
利息の支払額	△49,989	△47,276
法人税等の支払額	△2,571	△2,913
法人税等の還付額	14,462	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,276,876	195,263
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,423	△174
投資事業組合からの分配による収入	32,006	7,750
その他	△1,078	△3,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,504	4,244
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△145,092	△70,922
長期借入金の返済による支出	△8,340	△4,078
その他	△54	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,486	△75,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△272	△6,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,146,622	118,105
現金及び現金同等物の期首残高	558,143	2,663,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,704,765	2,781,291

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	7,541,746	3,628,170	136,527	-	11,306,444
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,541,746	3,628,170	136,527	-	11,306,444
セグメント利益又は損失(△)	86,465	83,574	△23,578	△110,484	35,977

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△110,484千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	6,810,138	3,744,064	226,720	-	10,780,923
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,810,138	3,744,064	226,720	-	10,780,923
セグメント利益又は損失(△)	△157,543	△11,072	△47,121	△107,280	△323,017

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△107,280千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。